

2021年6月7日

報道関係各位

中部学院大学 通信教育部

農福連携「アグリケアコース」

就労継続支援事業所で学生が農業体験

中部学院大学通信教育部は今年度から、農業を生かした福祉支援・援助を目指す「アグリケアコース」を開講していますが、初めての実践（スクーリング）として、学生が就労継続支援事業所に行き、農業体験を行います。

「アグリケアコース」は、農業関連の専門家の協力を得て、農業を生かした福祉支援や援助に必要な知見と技術、実践力を備えた人材を養成することを目的にしています。

今回の実践は、「農福連携コーチング演習」の科目で実施します。ねらいは、農業技術を習得すると共に、県内で農福連携に取り組んでいる施設でコーチングに必要な支援の技術を学ぶことです。具体的には、関市で就労継続支援事業所を運営している株式会社 DAI に行き、野菜のカットの仕方などを就労者に指導している現場を見学したり、学生自身も野菜のカットなどを行ったりします。

記

- 場 所 就労継続支援 A 型事業所 DAI（関市平和通 3 丁目 12）
- 日 時 2021（令和 3）年 6 月 12 日（土） 午前 10 時～正午（雨天決行）
- 受講科目 農福連携コーチング演習
- 参加者 通信教育部受講生 5 名
- 当日連絡先 0575-24-2287（通信教育部事務課）※当日は事務員が帯同

「アグリケアコース」

2021（令和 3）年 4 月開講。座学として「農業の基礎知識」「農業福祉論」があり、土づくりや肥料、病害虫対策、農業資材などの基礎知識への理解を深めたり、農業を活用した福祉支援の在り方について考えたりします。実践（スクーリング）では、「農業実践」「農福連携コーチング演習」があり、農場をフィールドとして、農業技術を習得したり、県内で農福連携に取り組んでいる施設でコーチングに必要な支援の技術を学んだりします。正科生、科目等履修生が受講でき、単位をすべて修得した受講生には修了証を発行します。

以上

（本件に関するお問い合わせ先）

中部学院大学 通信教育部（担当：可児） TEL:0575-24-2287 e-mail: kani@chubu-gu.ac.jp